国立研究開発法人日本医療研究開発機構

平成30年度 AMED ICT関連事業 成果報告会

AMEDでは、ICTを臨床研究等に利用するための基盤構築やAI開発、
個人の健康情報管理等に関連する研究開発事業を複数実施しています。
このたび、平成30年度に多くの課題が終了することから、これらの研究成果を研究者、医療機関、
アカデミアに限らず、広く一般の方々を対象として発表するための成果報告会を開催いたします。
また、医療ICTを取り巻く新たな環境の変化について参加者に紹介するとともに、
研究開発課題を通して明らかになった課題について参加者間で議論するための
サテライトシンポジウムをあわせて開催いたします。

日時 平成31年 **3月5日（火）** 10：00～17：30（9：30開場）

会場 **丸ビルホール&コンファレンススクエア**
東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7、8階

定員 **400名**

主催 **国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　臨床研究・治験基盤事業部　臨床研究課**
東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル 21 階　HP：https://www.amed.go.jp/

AMED
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

【お問い合わせ】平成 30 年度 AMED ICT 関連事業 成果報告会　参加登録事務局（受付時間 10：00－19：00）
TEL：03-6911-0583　FAX：03-6911-0581　E-mail：amed-ict-2018@medical-bank.org

全国共同利用型国際標準化健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究

荒木 賢二

宮崎大学医学部附属病院　副病院長　IR 部教授
北陸先端科学技術大学院大学客員教授
特定非営利活動法人　日本医療ネットワーク協会　理事長
一般社団法人　ライフデータイニシアティブ　理事

プロフィール

1958年　大阪市生まれ
1983年　宮崎医科大卒
1989年　同大大学院博士課程修了
1989年　宮崎医科大学第二外科入局
1997年　宮崎医科大学医療情報部助手
1991年　科学技術特別研究員として国立循環器病センター研究所人工臓器部赴任
2001年　宮崎大学医学部附属病院医療情報部教授に就任
2018年　現職

専門領域：医療情報学、病院・医療管理学

講　演　概　要

我が国は、国民皆保険制度や優れた公衆衛生対策、高度な医療技術等の成果により、世界最高水準の平均寿命を達成していますが、健康寿命と平均寿命の乖離が大きいことが社会保障関係費の増加にも繋がり国家的課題となっています。

世界に先駆け超高齢社会を迎える我が国にあって、課題解決先進国として、世界最先端の医療技術・サービスを実現することで、全ての国民が自らの人生を楽しみ、最後まで自分らしく生きることが出来る「生涯現役社会」の実現に繋がります。

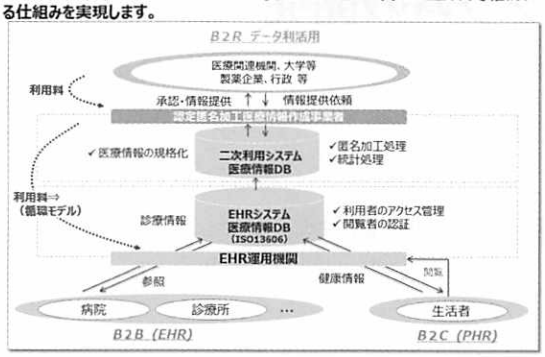
千年カルテプロジェクトは、我が国の健康長寿社会の形成に向け、国民のライフログを含めた健康・医療全般の情報を集約し、医療・医薬品の安全かつ有効な活用、研究開発に資する世界最高水準の技術を用いた医療データベースの構築に向け、AMEDの研究開発事業として数多くの医療施設の皆さまの協力を得て、様々な研究を進めて参りました。

千年カルテプロジェクトは、未来の医療情報データベースの利活用を創造しながら、次世代の医療データベースを目指して、参加医療施設の皆さまと共に、新たな医療情報基盤の環境を創り上げたいと考えています。

スライド

千年カルテプロジェクトとは、

千年カルテプロジェクトは、参加医療施設や患者にEHR機能等による付加価値を提供した上で、医療情報利活用を促進し、EHRの運用を含め自立採算で継続する仕組みを実現します。



現在の参加施設

千年カルテプロジェクトは、100以上の施設・団体からの参加の意思表示をいただいています。短期/中期計画では、約300施設以上の参加を募り、医療情報利活用の価値の最大化を図ります。

運用開始時には、実患者数200万人の症例データを集約し次世代の医療データベースの実現を目指します。

医療施設からの収集情報

電子カルテの情報を中心に、医療施設等が保有する実施情報に加え、アウトカム情報及びライフケアステージ全般の情報を集積することで、付加価値の高い分析の実現を目指します。

生活者のライフケアステージ	Birth	Prevention (健診センター)	Primary care (診療所) / Cure (病院)			Care (介護施設)	Death
			問診	検査・診断	処置・処方		
Input データ (実施情報)	(出生届) ・出生年月日 ・出生場所 等	・健診検査結果 (特定健診) ・健診検査結果 (任意) ・特定保健指導内容	・性別 ・年齢	・疾病名 ・DPC分類 ・身長・体重 ・バイタル ・検体検査値 (病理レポート) ・病理検査結果 (生理レポート) ・生理検査結果 (放射線レポート) ・画像検査結果 等	・入退院歴 ・処置項目 ・処方内容 (保険適応分) ・保険適応外処置・処方 (手術レポート) ・手術時間 ・麻酔時の状況と術中経過 ・麻酔投薬状況 ・術中バイタル ・術後計画 等	・要介護度 ・介護サービス利用状況 (介護記録) ・バイタル (介護記録) ・運動歴 ・食歴	(死亡届) ・死亡年月日 ・死亡場所 等
Outcome データ (結果情報)	(証明書) ・出生時体重 ・出生時身長 等		・主訴 ・病状 ・触診結果 ・背景疾病 ✓ 家族歴 ✓ 生活様式 ✓ 既往歴 等				(診断書) ・死亡の原因 ・検案作成者 等
	Phase3	Phase2	Phase1			Phase2	Phase3
生活者情報	Phase2 PHR系情報 (体重、血圧、運動量 etc) 、食品購入履歴						
その他	Phase2 救急出動記録情報、入出国記録 など						

千年カルテで提供する様々なサービス

次世代医療基盤法に基づき「オールジャパンでの医療情報利活用基盤」を実現し、一次利用/二次利用において様々なニーズに応えるサービスの実現を目指します。

「医療施設のため、研究者のため、そして患者のために」

成果報告会（会場：7F ホール）

開会挨拶	末松 誠	日本医療研究開発機構 理事長
ご挨拶	酒巻 哲夫	AMED ICT関連事業 プログラムスーパーバイザー
来賓挨拶	大坪 寛子	内閣官房 健康・医療戦略室 次長
	飯村 由香理	総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 情報流通高度化推進室 室長
	廣瀬 誠	厚生労働省 大臣官房 厚生科学課 研究企画官
	西川 和見	経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長

IoT等活用行動変容研究事業（10:30~11:20）

座長：田辺 里美（プログラムオフィサー）

IoT-1	“噛む”を測ることによるヘルスプロモーションシステムの開発に関する研究 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 教授 **小野 高裕**
IoT-2	IoTを用いた運動行動変容のためのプログラム開発：フレイルの観点から 九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター 教授 **熊谷 秋三**
IoT-3	健康寿命延伸を目的とした加速度センサー利用の効果検証とAIを用いた要介護・認知症発症予測モデルの開発研究 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部 部長 **島田 裕之**
IoT-4	IoTを基軸とした民・官・学連携による実効性の高い生活習慣病予防・改善モデルの開発 京都大学大学院 医学研究科附属ゲノム医学センター 准教授 **田原 康玄**
IoT-5	IoTを活用した大規模個別運動処方のための携帯端末アプリの開発 信州大学大学院 医学系研究科 教授 **増木 静江**

休憩／**IoT等活用行動変容研究事業 ポスターコアタイム**

パーソナル・ヘルス・レコード（PHR）利活用研究事業（11:50~12:50）

座長：宇都 由美子（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 医療システム情報学 准教授）

PHR-1	妊娠・出産・子育て支援PHRモデルに関する研究 前橋工科大学 システム生体工学科 松本研究室 研究協力員 **本村 信一**
PHR-2	介護予防政策へのパーソナル・ヘルス・レコード（PHR）の利活用モデルの開発 千葉大学 予防医学センター 教授 **近藤 克則**
PHR-3	医療保険者・疾病管理事業者・医療機関等が連携した生活習慣病重症化予防サービスの標準化・事業モデル創出を目指した研究 医療情報システム開発センター 理事長 **山本 隆一**
PHR-4	医療・介護連携PHRモデルに関する研究 山梨大学 総合研究部 教授 **佐藤 弥**
PHR-5	臨床および臨床研究のための分散PDSの応用に関する研究 東京大学 ソーシャルICT研究センター 教授 **橋田 浩一**
PHR-6	臨床および臨床研究の充実のための本人に関する多種多様な情報のデジタル化・ネットワーク化及び統合的な利活用を可能とする基盤技術に関する研究 佐賀大学 救急医学講座 教授 **阪本 雄一郎**

休憩／**パーソナル・ヘルス・レコード（PHR）利活用研究事業 ポスターコアタイム**

臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業（13:40~15:10）

座長：石川 ベンジャミン 光一（国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科 教授）

ICT-1	全国共同利用型国際標準化健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究 特定非営利活動法人日本医療ネットワーク協会 理事長 **荒木 賢二**
ICT-2	EHRを活用した臨床データベースによる糖尿病重症化・合併症発症リスク診断支援プログラムの開発 徳島大学 先端酵素学研究所糖尿病・臨床研究開発センター 教授 **松久 宗英**
ICT-3	医用知能情報システム基盤の研究開発 東京大学 医学部附属病院 教授 **大江 和彦**
ICT-4	SS-MIX2を基礎とした大規模診療データの収集と利活用に関する研究 医療情報システム開発センター 理事長 **山本 隆一**
ICT-5	SS-MIX2規格の診療情報を中心とした生涯保健情報統合基盤の構築と利活用に関する研究 日本医師会ＯＲＣＡ管理機構株式会社 代表取締役社長 **上野 智明**
ICT-6	電子カルテシステムを基盤とするCDISC標準での効率的臨床研究データ収集システムネットワークの構築とその有効性の検証 大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学 教授 **松村 泰志**
ICT-7	既存の診療情報と一体的に運用可能な症例登録支援システムの構築とアウトカム指標等の分析・利活用に関する研究 山口大学 大学院医学系研究科 医療情報判断学講座 教授 **石田 博**
ICT-8	医療の質向上を目的とした臨床データベースの共通プラットフォームの構築 慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授 **宮田 裕章**
ICT-9	在宅医療における再入院を阻止する革新的ICT遠隔モニタリング環境の構築 大阪大学 国際医工情報センター 慢性心不全総合治療学共同研究講座 特任教授 **麻野井 英次**

休憩／**臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業 ポスターコアタイム**

臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業（15:50~17:30）

座長：森井 昌克（神戸大学大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 教授）

ICT-10	機序の異なる人工知能の多重解析による癌コンパニオン診断システムの開発 理化学研究所 革新知能統合研究センター 病理情報学チーム チームリーダー　山本 陽一朗
ICT-11	病理医不足を解決する WSI を用いた医療チームによる Medical Arts の創成研究 国際医療福祉大学 医学部 病理部 教授　森 一郎
ICT-12	クラウド型広域調剤情報共有システムの構築と有効性・安全性の検証 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 地域医療学分野 教授　前田 隆浩
ICT-13	車中泊・避難所でのエコノミークラス症候群に対する災害時スクリーニング技術の開発 国立循環器病研究センター 肺高血圧症先端医学研究部 特任部長、心臓血管内科部門 肺循環科 医長　大郷 剛
ICT-14	NDB データによる理想的な健康医療ビッグデータ活用モデルの確立に関する研究 京都大学 医学部附属病院 医療情報企画部 教授　黒田 知宏
ICT-15	超高速・超学際次世代 NDB データ研究基盤にもとづくエビデンスの飛躍的創出を通じた 理想的な健康・医療・介護ビッグデータ活用モデルの確立に関する研究 医療経済研究機構 研究部 研究副部長 / 上席研究員　満武 巨裕
ICT-16	人工知能による総合診断診療支援システムの開発 自治医科大学 学長　永井 良三
ICT-17	遠隔精神科医療の臨床研究エビデンスの蓄積を通じたガイドライン策定とデータ利活用に向けたデータベース構築 慶應義塾大学医学部 精神・神経科 専任講師　岸本 泰士郎
ICT-18	レセプト等の大規模電子診療情報を活用した薬剤疫学研究を含む医療パフォーマンス評価に関する研究 奈良県立医科大学 医学部 公衆衛生学講座 講師　野田 龍也

閉会挨拶　プログラムオフィサー　高林 克日己

ポスター展示（会場：7F ホワイエ）

IoT等活用行動変容研究事業　ポスター発表 11:20~11:50

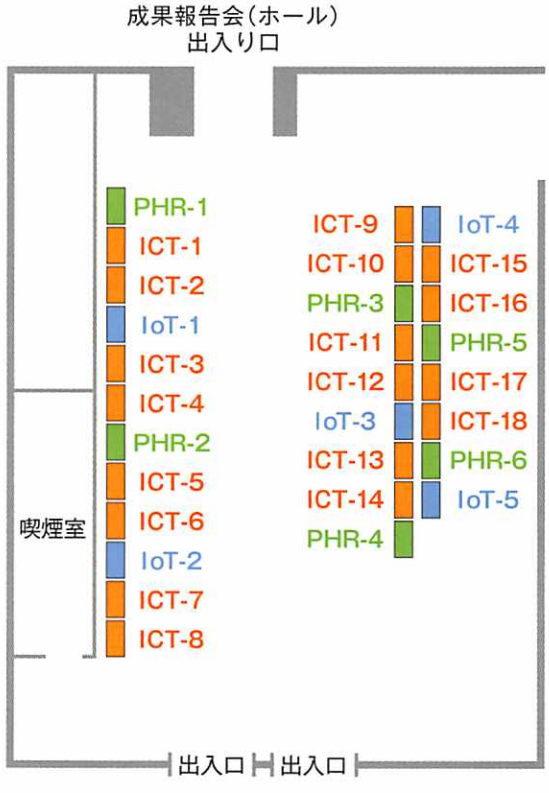
小野 高裕	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 教授	IoT-1
熊谷 秋三	九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター 教授	IoT-2
島田 裕之	国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部 部長	IoT-3
田原 康玄	京都大学大学院 医学研究科附属ゲノム医学センター 准教授	IoT-4
増木 静江	信州大学大学院 医学系研究科 教授	IoT-5

パーソナル・ヘルス・レコード(PHR)利活用研究事業　ポスター発表 12:50~13:20

本村 信一	前橋工科大学 システム生体工学科 松本研究室 研究協力員	PHR-1
近藤 克則	千葉大学 予防医学センター 教授	PHR-2
山本 隆一	医療情報システム開発センター 理事長	PHR-3
佐藤 弥	山梨大学 総合研究部 教授	PHR-4
橋田 浩一	東京大学 ソーシャルICT研究センター 教授	PHR-5
阪本雄一郎	佐賀大学 救急医学講座 教授	PHR-6

臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業　ポスター発表 15:10~15:50

荒木 賢二	特定非営利活動法人日本医療ネットワーク協会 理事長	ICT-1
松久 宗英	徳島大学　先端酵素学研究所糖尿病・臨床研究開発センター 教授	ICT-2
大江 和彦	東京大学 医学部附属病院　教授	ICT-3
山本 隆一	医療情報システム開発センター 理事長	ICT-4
上野 智明	日本医師会ＯＲＣＡ管理機構株式会社　代表取締役社長	ICT-5
松村 泰志	大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学 教授	ICT-6
石田 博	山口大学 大学院医学系研究科 医療情報判断学講座 教授	ICT-7
宮田 裕章	慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授	ICT-8
麻野井 英次	大阪大学 国際医工情報センター 慢性心不全総合治療学共同研究講座 特任教授	ICT-9
山本 陽一朗	理化学研究所 革新知能統合研究センター 病理情報学チーム チームリーダー	ICT-10
森 一郎	国際医療福祉大学 医学部 病理部 教授	ICT-11
前田 隆浩	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 地域医療学分野 教授	ICT-12
大郷 剛	国立循環器病研究センター 肺高血圧症先端医学研究部 特任部長、心臓血管内科部門 肺循環科 医長	ICT-13
黒田 知宏	京都大学　医学部附属病院 医療情報企画部 教授	ICT-14
満武 巨裕	医療経済研究機構 研究部 研究副部長／上席研究員	ICT-15
永井 良三	自治医科大学 学長	ICT-16
岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部 精神・神経科 専任講師	ICT-17
野田 龍也	奈良県立医科大学 医学部 公衆衛生学講座 講師	ICT-18



シンポジウム（会場：8F Room4）

医療情報基盤の二次利用を目指して（10:40~12:50）

座長：**高林 克日己**（プログラムオフィサー）

10:40~10:50	臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業のご紹介	**酒巻 哲夫**	AMED ICT関連事業 プログラムスーパーバイザー
10:50~11:30	招待講演① 「改正個人情報保護法を踏まえた医療情報の研究利用について」	**古田 淳一**	筑波大学 医学医療系 医療情報マネジメント学 講師
11:30~12:10	招待講演② 「なぜ『次世代医療基盤法』か」	**田中 謙一**	内閣官房 健康・医療戦略室 参事官
12:10~12:50	招待講演③ 「診療データの外部提供について ― 医療情報管理部門の立場から」	**黒田 知宏**	京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授

休憩

PHR・IoTの実装を目指して（13:50~17:10）

座長：**武藤 真祐**（医療法人社団 鉄祐会 理事長）
田辺 里美（プログラムオフィサー）

パーソナル・ヘルス・レコード（PHR）利活用研究事業、 IoT等活用行動変容研究事業のご紹介	**田辺 里美**	AMED ICT関連事業 プログラムオフィサー

話題提供（14:10~15:40）

「パナソニック健康保険組合におけるICT活用について」	**朝日 若菜**	パナソニック健康保険組合 健康開発センター 保健師
「ICT/IoT環境など地域特性を活かした地方創生 ～健康経営都市の具現化を目指す取組み～」	**黄瀬 信之**	岩見沢市企画財政部 情報政策推進担当次長
「真に国民に普及できる行動変容支援ツールの実現に向けて」 ～民間から医療を考える～	**八杉 綾香**	株式会社ウィット あすけん事業部 医療事業担当部長

（ 休憩 ）

パネルディスカッション（16:00~17:10）

座長／ファシリテーター：**武藤 真祐**　医療法人社団 鉄祐会 理事長
座長：**田辺 里美**　プログラムオフィサー

パネリスト：**朝日 若菜**　パナソニック健康保険組合 健康開発センター 保健師
黄瀬 信之　岩見沢市企画財政部 情報政策推進担当次長
八杉 綾香　株式会社ウィット あすけん事業部 医療事業担当部長
増原 知宏　総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 情報流通高度化推進室 課長補佐
入江　奨　経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長補佐

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

平成30年度 AMED ICT関連事業 成果報告会

抄録集

日時 平成31年
3月5日（火） 10：00～17：30（9：30開場）

会場 **丸ビルホール＆コンファレンススクエア**
東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7、8階

AMED
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

目次

開会にあたって …… 6
AMED ICT 関連事業プログラムスーパーバイザー　酒巻 哲夫

AMED ICT関連事業　プログラムスーパーバイザー、プログラムオフィサーのご紹介 …… 7

成果報告会

□**"噛む"を測ることによるヘルスプロモーションシステムの開発に関する研究** …… 8
新潟大学大学院医　歯学総合研究科　包括歯科補綴学分野　教授　小野 高裕

□**IoTを用いた運動行動変容のためのプログラム開発：フレイルの観点から** …… 10
九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター 教授・副センター長　熊谷 秋三

□**健康寿命延伸を目的とした加速度センサー利用の効果検証とAIを用いた要介護・認知症発症予測モデルの開発研究** …… 12
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター
予防老年学研究部　部長　島田 裕之

□**IoTを基軸とした民・官・学連携による実効性の高い生活習慣病予防・改善モデルの開発** …… 14
京都大学大学院　医学研究科附属ゲノム医学センター・准教授　田原 康玄

□**IoTを活用した大規模個別運動処方のための携帯端末アプリの開発** …… 16
信州大学　学術研究院医学系 スポーツ医科学教室 /
先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所 教授　増木 静江

□**妊娠・出産・子育て支援PHRモデルに関する研究** …… 18
前橋工科大学　システム生体工学科　松本研究室　研究協力員　本村 信一

□**介護予防政策へのパーソナル・ヘルス・レコード(PHR)の利活用モデルの開発** …… 20
国立大学法人千葉大学　予防医学センター　教授
国立長寿医療研究センター　老年学・社会科学研究センター　老年学評価研究部長(併任)
一般社団法人　日本老年学的評価研究機構　代表理事(併任)　近藤 克則

□**医療保険者・疾病管理事業者・医療機関等が連携した生活習慣病重症化予防サービスの標準化・事業モデル創出を目指した研究** …… 22
医療情報システム開発センター　理事長　山本 隆一

□**医療・介護連携PHRモデルに関する研究** …… 24
山梨大学大学院　総合研究部　地域医療学講座　教授　佐藤 弥

□**臨床および臨床研究のための分散PDSの応用に関する研究** …… 26
東京大学 ソーシャル ICT 研究センター 教授　橋田 浩一

□**臨床および臨床研究の充実のための本人に関する多種多様な情報のデジタル化・ネットワーク化及び統合的な利活用を可能とする基盤技術に関する研究** …… 28
佐賀大学医学部附属病院　高度救命救急センター　センター長
佐賀大学　救急医学講座　教授　阪本 雄一郎

□**全国共同利用型国際標準化健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究** …… 30
宮崎大学医学部附属病院　副病院長　IR 部教授 /　北陸先端科学技術大学院大学客員教授
特定非営利活動法人　日本医療ネットワーク協会　理事長
一般社団法人　ライフデータイニシアティブ　理事　荒木 賢二

□**EHRを活用した臨床データベースによる糖尿病重症化・合併症発症リスク診断支援プログラムの開発** …… 32
徳島大学先端酵素学研究所　糖尿病臨床・研究開発センター　センター長・教授　松久 宗英

医用知能情報システム基盤の研究開発 34
東京大学大学院　医学系研究科　医療情報学分野　教授　大江 和彦

SS-MIX2を基礎とした大規模診療データの収集と利活用に関する研究 36
医療情報システム開発センター　理事長　山本 隆一

SS-MIX2規格の診療情報を中心とした生涯保健情報統合基盤の構築と利活用に関する研究 38
日本医師会 ORCA管理機構(株)代表取締役社長　上野 智明

電子カルテシステムを基盤とするCDISC標準での効率的臨床研究データ収集システムネットワークの構築とその有効性の検証 40
大坂大学大学院医学系研究科　医療情報学　教授　松村 泰志

既存の診療情報と一体的に運用可能な症例登録支援システムの構築とアウトカム指標等の分析・利活用に関する研究 42
山口大学大学院医学系研究科　医療情報判断学　教授　石田 博

医療の質向上を目的とした臨床データベースの共通プラットフォームの構築 44
慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授　宮田 裕章

在宅医療における再入院を阻止する革新的ICT遠隔モニタリング環境の構築 46
大阪大学大学院医学系研究科 最先端再生医療学共同研究講座 特任教授　宮川 繁

機序の異なる人工知能の多重解析による癌コンパニオン診断システムの開発 48
理化学研究所 革新知能統合研究センター 病理情報学チーム チームリーダー　山本 陽一朗

病理医不足を解決する WSI を用いた医療チームによる Medical Arts の創成研究 50
国際医療福祉大学 医学部 病理部　教授　森 一郎

クラウド型広域調剤情報共有システムの構築と有効性・安全性の検証 52
長崎大学大学院　医歯薬学総合研究科　地域医療学分野　教授　前田 隆浩

車中泊・避難所でのエコノミークラス症候群に対する災害時スクリーニング技術の開発 54
国立循環器病研究センター　肺高血圧症先端医学研究部　特任部長
心臓血管内科部門　肺循環科　医長　大郷 剛

NDBデータによる理想的な健康医療ビッグデータ活用モデルの確立に関する研究 56
京都大学　医学部附属病院 医療情報企画部　教授　黒田 知宏

超高速・超学際次世代NDBデータ研究基盤にもとづくエビデンスの飛躍的創出を通じた理想的な健康・医療・介護ビッグデータ活用モデルの確立に関する研究 58
一般財団法人　医療経済研究・社会保険福祉協会　医療経済研究機構　研究部副部長・上席研究員／
博士(人間・環境学)　満武 巨裕

人工知能による総合診断診療支援システムの開発 60
自治医科大学　学長　永井 良三

遠隔精神科医療の臨床研究エビデンスの蓄積を通じたガイドライン策定とデータ利活用に向けたデータベース構築 62
慶應義塾大学医学部　精神・神経科学教室　専任講師　岸本 泰士郎

レセプト等の大規模電子診療情報を活用した薬剤疫学研究を含む医療パフォーマンス評価に関する研究 64
奈良県立医科大学　医学部　公衆衛生学講座　講師　野田 龍也

シンポジウム

臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業のご紹介 68
AMED ICT 関連事業　プログラムスーパーバイザー　酒巻 哲夫

招待講演①　改正個人情報保護法を踏まえた医療情報の研究利用について …… 70
筑波大学 医学医療系　医療情報マネジメント学 講師　古田 淳一

招待講演②　なぜ『次世代医療基盤法』か …… 88
内閣官房 健康・医療戦略室 参事官　田中 謙一

招待講演③　診療データの外部提供について - 医療情報管理部門の立場から …… 104
京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授　黒田 知宏

PHR・IoT の実装を目指して …… 108
医療法人社団 鉄祐会 理事長　武藤 真祐

パーソナル・ヘルス・レコード(PHR)利活用研究事業、IoT 等活用行動変容研究事業のご紹介 …… 109
AMED ICT 関連事業　プログラムオフィサー　田辺 里美

話題提供①　パナソニック健康保険組合におけるICT 活用について …… 110
パナソニック健康保険組合　健康開発センター　朝日 若菜

話題提供②　ICT/IoT 環境など地域特性を活かした地方創生 ～健康経営都市の具現化を目指す取組み～ …… 114
岩見沢市企画財政部 情報政策推進担当次長　黄瀬 信之

話題提供③　真に国民に普及できる行動変容支援ツールの実現に向けて ～民間から医療を考える～ …… 124
株式会社ウィット あすけん事業部 医療事業担当部長　八杉 綾香

パネルディスカッション　座長のご紹介 …… 140

パネルディスカッション　パネリストのご紹介 …… 140